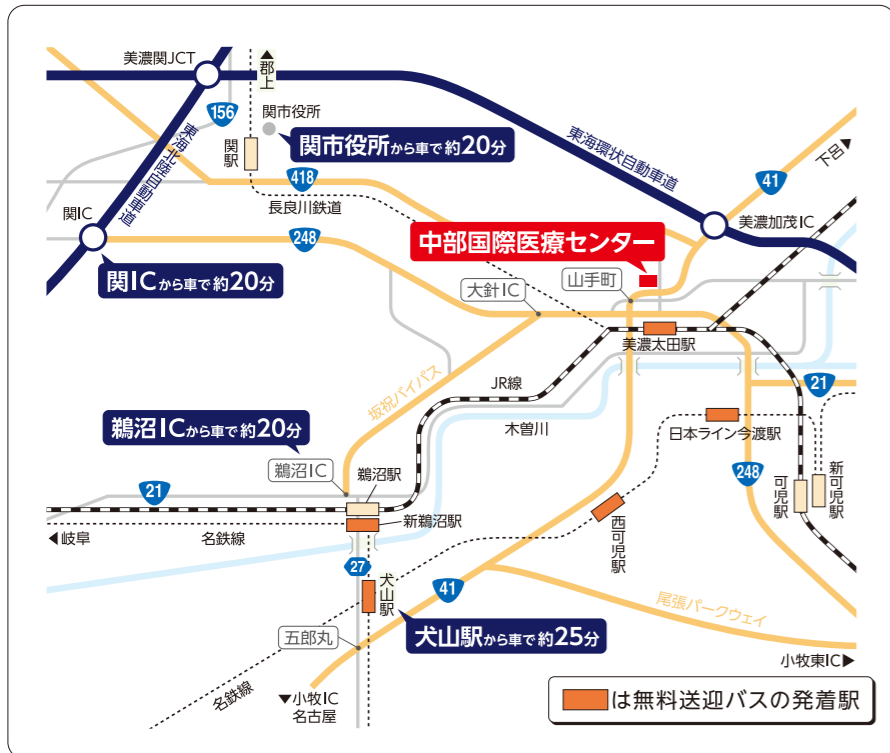


ACCESS 交通アクセス



※宿泊施設をご紹介することもできます。

高速「美濃加茂IC」から約5分
美濃太田駅から車で約5分・バスで約8分

名古屋駅から

- ・車で約60分
- ・特急ひだで「美濃太田駅」まで約40分

中部国際空港から

- ・車で約90分

県営名古屋空港から

- ・車で約40分

※名古屋高速をご利用の方へ:小牧北出口が渋滞している時は、中央道の小牧東出口をご利用ください。尾張パークウェイ経由の国道41号がスムーズです。

無料送迎バス運行中

発着駅/美濃太田駅北口
※あい愛バス(有料)も運行中
犬山駅西口 名鉄新鵜沼駅
西可児駅 日本ライン今渡駅



駐車場案内



無料駐車場
約700台
完備

- バス乗り場
- タクシー乗り場
- 駐輪場
- おもしろい駐車場

社会医療法人厚生会
中部国際医療センター

〒505-8510 岐阜県美濃加茂市 健康のまち一丁目1番地
お問合せ先/陽子線がん治療センター開設準備室
TEL 0574-66-1266 FAX 0574-66-1581



2023年開設
陽子線がん治療センター
Proton Therapy Center

日本初 最新の治療装置を導入

- 33の診療科全てがチーム医療で治療前後をサポート
- お仕事前後の時間帯でも通院治療が可能
- 「地域がん診療連携拠点病院」としての信頼と安心



社会医療法人厚生会
中部国際医療センター
Central Japan International Medical Center

がん治療のあらたな可能性へ 日本初 最新の治療装置を導入

中部国際医療センターでは、日本初となる最新式の陽子線治療装置「バリアン社製ProBeam360°」を導入した陽子線がん治療センターを開業します。がんに集中的に照射できる陽子線は、副作用を軽減でき、通院で治療を受けることもできます。33の診療科が一体となり、万全なサポートのもと、がん治療のあらたな可能性を切り拓きます。

33の診療科全てがチーム医療で治療前後をサポート

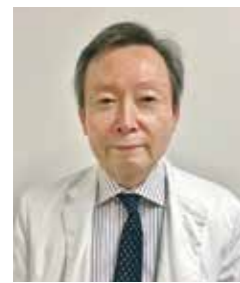
最先端の医療機器や高い専門性をもつスタッフ、充実した設備を配した医療体制で、陽子線治療の前後を支えます。

お仕事前後の時間帯でも通院治療が可能

1回あたりに要する時間が短いため、仕事前後に治療を受けることが可能。

「地域がん診療連携拠点病院」としての信頼と安心

陽子線治療のほかにも最新の治療法を積極的に採用し、患者様に合わせた治療法を選択できる体制を築いています。



陽子線がん治療センター長 不破 信和

身体的な負担が少なく、より高い効果が望める陽子線は、これまでX線では制御することが困難であったがんも保険適用になるなど対象範囲も広がっています。新たな施設では中部国際医療センターとしての強みを活かしながら、精度が高く安全ながん治療を目指していきます。

Profile

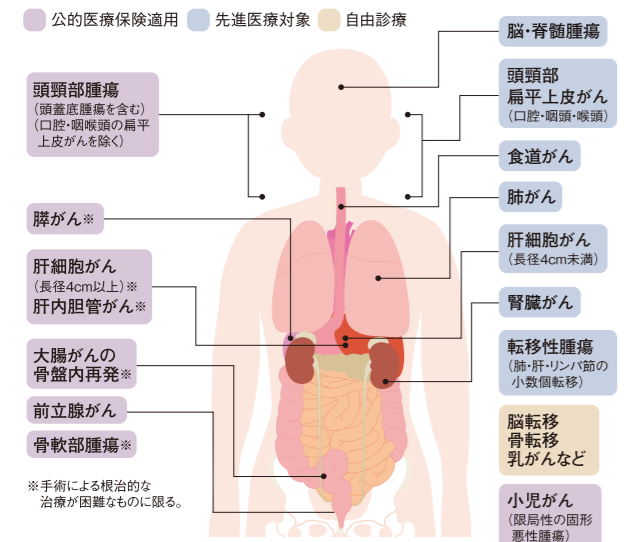
1981年三重大学医学部卒業。放射線治療科統括部長を兼務。愛知県がんセンター副院長をはじめ、南東北がん陽子線治療センター長、兵庫県立粒子線医療センター院長を歴任し、2021年より現職。放射線治療専門医で、放射線治療の第一人者。

陽子線治療とは

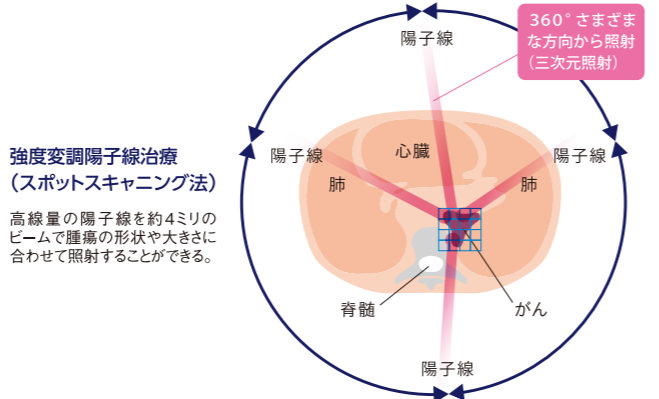
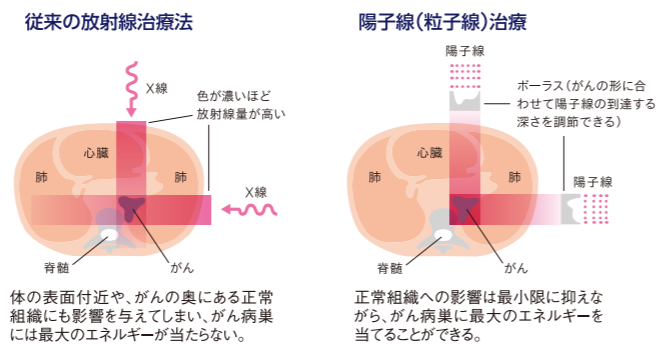
■ より身体的な負担が少なく効果的ながん治療

陽子線はがんの深さや形状に合わせた照射ができるため、体への負担が少ないほか、他の正常な細胞や臓器へのダメージを抑えることができます。

■ 陽子線治療の対象となるがん



■ 従来の放射線治療と陽子線治療の照射の違い



■ 陽子線治療の費用

公的医療保険	健康保険が適用になる場合の自己負担は1〜3割です(例:前立腺がんは陽子線治療技術料160万円の1〜3割)。自己負担分は、高額療養費制度の利用可能、負担割合は年齢等で異なります。
先進医療	診察・検査や薬代などは保険適用され、先進医療の「陽子線治療」部分(300万円程度)は自費になります。先進医療部分は、民間の生命保険・先進医療特約でカバーできる場合があります。医療費控除の対象にもなります。
自由診療	健康保険の給付対象とならない医療のことで、全額自己負担です。患者様の希望があれば、医師の判断によって行うことができます。

*治療方法はがんの部位や形状により異なり、治療費は患者様によって異なりますので、詳しくはご相談下さい。

バリアン社製 ProBeam360° 陽子線治療装置

米国バリアン社製の最新の治療装置を日本で初めて導入。日本初となる「超電導サイクロトロン」で加速するので治療時間が短くなり、360°さまざまな方向から照射(三次元照射)することができます。そのため、患者様の負担が軽くなり、正常な組織へのダメージも最小限に抑えます。腫瘍の形状や大きさに合わせて精密に照射することができるスポットスキャンニング法で、より効率的な陽子線治療を可能にします。



Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.

陽子線治療 Q&A

治療にかかる時間や期間は?	毎回10分から15分程度。治療期間は部位によって異なりますが、短い患者様で2週間、長い場合で約2ヶ月間が目安です。
痛みや副作用はある?	X線と同じく、照射による熱さや痛みはありません。照射された場所に皮膚炎や粘膜炎などが生じることがありますが、その際は当院の診療科が適切に対応いたします。
どんな人でも治療できる?	年齢制限はありませんが、全てのがんが治療適応になるわけではありません。左図の対象の中でも場合によっては適応にならないことがありますので、詳しくは主治医にご相談ください。
治療法についてセカンドオピニオンを希望できる?	主治医との良い関係の中で、複数の医師の意見を聞いて患者様が自ら治療法を選択でき、納得した最適な治療法を受けられるよう、さまざまな角度から陽子線治療に取り組んでいます。